

現行版ガイドブック作成時の考え方

非構造部材の耐震対策に関する点検・対策マニュアルの作成について

1. 目的

非構造部材の耐震化を図るため、耐震化の重要性・必要性とともに、具体的な点検項目と対策を示す。

非構造部材の耐震化が十分とはいえない中で、第一歩として取り組めることを意識した内容とし、被害の軽減と学校設置者や教職員の意識の向上を目的とする。

したがって、本会議は、個々の耐震点検方法や対策の手法自体について議論するものではなく、点検及び対策の実施を促すことを主眼とし、従来提示されている点検・対策内容を学校設置者や教職員にわかりやすく示す方法を検討するものである。

2. マニュアルの主な内容

(1)被害事例の紹介

学校設置者や教職員が、耐震化の重要性・必要性とともに具体的な危険性を含む(被害の可能性がある)部分を認識できるよう、過去の被害事例を紹介。

(2)点検項目(点検リスト)の提示

誰(学校設置者、教職員等)が何(部分)を点検すればよいかを明示。点検リストの内容は、耐震化に係る項目を網羅的に掲載するものではなく、より効率的・効果的に実施してもらうため、優先順位を示しつつ項目を提示する。

(3)対策方法の提示

点検リストの項目に対する対策を例示。

3. WGの設置

○主に上記2. (2)(3)についての検討を目的とする。

○点検リストの項目は、基本的には「学校施設の非構造部材等の耐震点検に関する調査研究報告書」(平成 14 年 3 月(社)日本建築学会)を引用する。その他の最近の資料についても必要に応じて加味する。

